

## 第5章 生きがいづくり・社会参加の推進

第1節 生きがいづくりへの支援

第2節 社会参加の推進



## 第5章 生きがいづくり・社会参加の推進

### 第1節 生きがいづくりへの支援

いきいきと生活するためには、高齢者一人ひとりが興味のあることに取組み、これまで培ってきた経験や知識を発揮していく場と機会の確保が必要です。

本町では、シニア(老人)クラブや生涯学習などを行う自主団体の活動を支援し、活力ある町づくりに取り組んでいます。

#### (1) シニア(老人)クラブ

播磨町シニアクラブ連合会は、健康・友愛・奉仕の目標を掲げ、高齢者が自ら得た知識・経験・技術を活かした社会奉仕活動、老人教養講座開催事業、健康増進活動に自主的に取り組むとともに、緊急の課題となっている子どもの見守り活動等、地域の安心・安全活動や、若年高齢者の加入促進にも積極的に取り組んでいます。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
老人クラブ数(箇所)	20	20	21
60歳以上人口(人)	9,508	9,919	10,184
会員数(人)	1490	1500	1486
加入率	15.7%	15.1%	14.6%

#### 今後の施策展開

各シニアクラブにおいては、社会奉仕活動、老人教養講座開催事業、健康増進活動、若年高齢者の育成に自主的に取組みをしており、生きがい活動を進める施策として効果をあげており、今後も地域における高齢者の生きがいづくりの基盤として、シニアクラブの活動に対して、県の助成に加えて財政的な支援を行っていきます。  
今後は特に団塊の世代の加入促進に力を入れていきます。

## (2) ふれあいいいきサロン

高齢者が地域住民とのふれあい、仲間づくりを行うことのできる場として、「ふれあい・いきいきサロン」を開催する自治会に対して、社会福祉協議会とともに財政的支援を行っています。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
団体数（箇所）	34	35	35

### 今後の施策展開

地域の自主的な福祉活動の充実は、安心して暮らせる町づくりに大きく貢献するもので、高齢者の閉じこもりの予防にも成果を上げることが期待されており、今後も社会福祉協議会と連携を図り、継続して支援していきます。

## (3) 生涯学習の推進（中央公民館・コミュニティセンターでの活動）

「自ら学ぶ」喜びを得ることができる生涯学習社会の実現をめざし、中央公民館や各地域にあるコミュニティセンターにおいての活動を支援しています。また、「ことぶき大学」では、高齢者が生涯を通じて学習できる場を確保・提供することにより、生きがいづくりを支援するとともに地域社会のリーダーを養成しています。

実施期間	平成 21 年度		平成 22 年度			平成 23 年度		
	1 年	2 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
受講者数（人）								
ふるさと学科	32	20	25	29	15	27	23	29
健康学科	29	29	18	26	24	39	16	21
自然科		13			12			
クラブ活動数（クラブ）	11		12			13		

※各年とも4月から2月の実績

### 今後の施策展開

生涯学習推進計画に基づき、生涯にわたり、いつでも、どこでも自主的に学ぶことができるよう、情報や学習の場を提供するとともに、高齢者自らが経験や技能、趣味をいかして社会参加し、生きがいを見出せる場を提供することに努めます。

#### (4) レクリエーション・スポーツ事業の充実

健康でいきいきとした生活を送るためには、介護予防の観点からみても、日頃から身体を動かし、それを楽しく継続できることが大切です。そのためにも、近年の健康ブームによって、健康・体力づくりに対する関心が高まるなか、生涯にわたってそれぞれの年齢や体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動が行えるよう、各スポーツ施設の整備や機会の提供が必要となります。

本町では、各種スポーツ・レクリエーション大会や教室の開催及び指導者の育成に努めています。今後も地域の誰もが各ライフステージにあわせてスポーツ活動に親しめるよう、スポーツクラブはりま 21 と連携を図っていきます。

#### (5) 播磨ふれあいの家 利用助成券交付

「播磨ふれあいの家」（多々良木山荘）において、65 歳以上の高齢者及びその他条件を満たす方の利用について、2,000 円分の助成券を交付しています。今後も引き続き、町広報誌にて制度の周知を図り、健康増進と福祉の向上を図っています。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
助成券利用者数（人）	175	224	220

#### (6) 敬老事業

毎年 9 月には「高齢者保健福祉月間」として、高齢者の長寿をお祝いするため、長寿祝金や長寿祝品の贈呈などの敬老事業を実施しています。

対象者	支給額	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
80 歳	20,000 円	186 人	229 人	236 人
85 歳	30,000 円	97 人	121 人	120 人
90 歳	50,000 円	28 人	49 人	39 人
95 歳	70,000 円	14 人	17 人	19 人
100 歳	100,000 円	4 人	4 人	4 人
101 歳以上	50,000 円	5 人	4 人	6 人

#### 今後の施策展開

長寿の方を祝福するという意味で一定の成果は認められるものの、近年では健康寿命といわれているように「健康」で長生きすることが重要視されてきています。県の制度廃止、県下の自治体中、最も厚遇の制度となっているなかで、今後は年齢到達一律支給ではなく、新たな視点での取組みを検討していきます。

## 第2節 社会参加の推進

就労やボランティアなどを通して社会参加することは、本人の生きがいがいづくりにつながることはもちろん、認知症予防、介護予防の効果にも大きく影響します。また、過去の経験や知識を周りの人に伝えることのできる機会でもあります。

今後、高齢者人口が増加の一途をたどる中で、高齢者のための就労の場の確保及び提供、就労に関する情報提供やサポートを充実させる必要があります。関係機関と連携し、高齢者のボランティア活動や就労意欲に応えられるよう環境整備を進めます。

### (1) シルバー人材センター活動への支援

シルバー人材センターは、就労を通じ、生きがいと社会参加、そして収入を得たいという健康な高齢者を会員とし、民間企業や一般家庭、公共団体などから各人の希望と経験・能力に応じてその仕事を紹介する場です。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
登録者総数（人）	393	354	350
契約件数（件）	2,496	2,478	2,530
就業実人数（人）	279	291	290
就業延人数（人）	47,303	47,347	48,900
就業率	82.3%	82.2%	82.9%

### 今後の施策展開

新規会員を増員することが受注業務の拡大にもつながり、高齢者の生きがいがいづくりにもつながることから、今後も活動状況などを周知し、会員の増加を支援していきます。

### (2) ボランティア活動への支援

ボランティアによる自主的な活動は、地域福祉を支え、福祉への理解を進める役割を果たしています。特に高齢者福祉の分野においては、高齢者の日常生活を支える担い手として重要な役割を果たしています。

高齢者が培ってきた経験、知識、技能などを活用し、様々な形で社会に貢献できる機会の充実を図るとともに、地域の特性に応じて行われる活動を支援し、ボランティア等の育成・支援を推進します。また、社会福祉協議会などとの連携により、ボランティアニーズの調整機能の充実を図ります。

### (3) 雇用・就労への支援

ハローワークなどと連携を図りながら、就業についての幅広い情報を高齢者へ発信していくことで、就労の支援を行います。また、事業主に対しては、高齢者の体力や身体状況に応じた就労環境に配慮をしてもらえるよう、関係機関を通して働きかけを行います。

